

赤本から絵巻まで、昔話・御伽草子の歴史をさかのぼる  
ミニ電子展示「**絵本のむかーしむかし**」公開

どなたでもご覧になれる、国立国会図書館のオンライン展示です。

国立国会図書館は令和6年9月26日に、ミニ電子展示「本の万華鏡」第36回「絵本のむかーしむかし」を公開しました。

「桃太郎」に代表されるような昔話の絵入り本がどのように読み継がれてきたのか、明治時代から室町時代までさかのぼってたどるオンライン展示です。江戸時代に子ども向けに出版された絵入り本「赤本」や、室町時代から江戸時代初期にかけて成立した「御伽草子」などを取り上げ、絵本の形態やストーリーの変遷をご紹介します。



URL: <https://www.ndl.go.jp/kaleido/entry/36/>

「絵本のむかーしむかし」は、10月1日から開催する企画展示「ひろげて、まいて、あらわれる 絵巻の世界」の関連コンテンツです。企画展示では、国立国会図書館が所蔵する絵巻を実際に展示します。詳しくは次の展示会案内ホームページをご覧ください。

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/gallery/emaki>



■ 報道機関の方のお問い合わせ先

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103 (直通)